

・罪のない子どもたちも原爆の後遺症によって、私たちと同じ12歳で亡くなってしまうという悲惨な出来事があるということを知り、悲しさを感じました。原爆や被害に遭った方が血の思いで語ってくれたことを私も後世に語り続けていきたいです。

・「お弁当を楽しみに出かけたが、それを食べることはできなかった。」という文章が凄く悲しかったです。毎日を大切に過ごしたいと思いました。

・未来で原爆を実際に体験した方がいなくなってしまうたらそのまま「もう居ないんだからいいでしょ」と思わず、ずっと次の世代に伝えていくことが大切だと思いました。

・今まで当たり前と思っていた生活が原爆によって一瞬にして壊れてしまうということを改めてこの新聞を通して知って、今この当たり前と思っている自分の環境を大切にしようと思いました。

・現地でしか学べないことがたくさんあると思いました。日本人だけでなく無差別で他の国の方も亡くなっていたことを知りました。

・同じ過ちは繰り返させぬからの所が特に大切だと思いました。亡くなった人も残された人も辛い戦争はやはりするべきではないと思います。第二次世界大戦から80年が経ちましたが、忘れるのではなく、次の世代に繋いでいくのが大切だと思いました。

・私たちは原爆について被害にあった方々の思いを後世に語り継ぎ、二度と同じ出来事を繰り返させない必要があると思いました。

・今でも広島は被害の跡が残っていることを知りました。平和を築くためにも自分の意見を伝えていく事が大切だと思いました。

・原爆は多くの尊い命を一瞬で奪ってしまうことが分かりました。「全員がNOと言えれば済む」という言葉が心に響きました。自分たちが学んだことを伝えていきたいです。

- 戦争によって当たり前の日常は一瞬で消えてしまうことを知り、朝、行ってきますと言って帰ってくるという日常は当たり前ではないということを痛感しました。当たり前の日常は保証されていないから、一日一日を大切に過ごしていきたいと思いました。

- 原爆は爆発の被害だけではなく、放射線による白血病の被害もあることを知りました。平和について一人一人が考える事、おもいやりをもつ事が大切だと思いました。